

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
大阪ブライダル専門学校	平成23年4月1日	高田 直樹	〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀2-1-25 (電話) 06-6447-0051
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人トラベルジャーナル学園	昭和55年4月1日	森谷 博	〒164-8550 東京都中野区東中野三丁目18番11号 (電話) 03-6734-2939
分野	認定課程名	認定学科名	専門士 高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	ブライダル学科 ドレスコーディネーター科(コース)	平成23年文部科学省 認定
学科の目的	ブライダルサービス関連企業との連携をより強固なものにして、本学卒業後に即戦力として就業できる人材を教育・育成する。		
認定年月日	平成26年3月31日		
修業年限	昼夜 1700時間	講義 1520時間	演習 - 実習 180 実験 - 実技 -
2年	昼間		
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数 兼任教員数 総教員数
160人	40人	40人	5人 12人 17人
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日	成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期毎に1回の試験を実施
長期休み	■夏季:7月下旬～9月30日までの5週間 ■冬季:12月下旬～1月上旬の3週間 ■春季休業:3月上旬～4月上旬までの3週間	卒業・進級 条件	全科目の75%以上の科目認定 出席率75%以上
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任、副担任による定期的な面談実施 カウンセラー担当者設置	課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 ・体育祭・学園祭における実行委員会 ・研修旅行、フィールドワーク ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生) ブライダルサービス関連業界 ■就職指導内容 面接指導、筆記試験対策、業界事情の講義 ■卒業生数 : 20 人 ■就職希望者数 : 20 人 ■就職者数 : 20 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 : (令和2年度卒業生に関する 令和3年3月31日時点の情報)	主な学修成果 (資格・検定等) ※3	資格・検定名 種 受験者数 合格者数 認定ドレスコー ディネーター ③ 18人 ブライダルコー ディネーター3級 ③ 33人 着付師3級 ③ 14人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいず れかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 なし
中途退学 の現状	■中途退学者 令和2年4月1日時点において、在学者38名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者35名(令和3年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由・進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 出席率管理・出席率悪化学生の早期面談システム	3名	■中退率 7.9%
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 長期留學制度奨学金 英語資格取得奨学金 家族推薦奨学金 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載		
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下1について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)		
当該学科の ホームページ URL	https://www.osaka-bridal.ac.jp/		

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者から除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経済的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱います)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係				
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針				
企業実習や本学卒業生の勤務状況、企業の施設を利用した実践的な講義を通じ、人事担当者や現場責任者の意見具申をカリキュラム等に柔軟に反映させていく。				
(2)教育課程編成委員会等の位置付け				
業界からの要望、知見をもって、本学のカリキュラムの編成に対して意見・具申を行う。				
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿				
令和2年3月31日現在				
	名 前	所 属	任期	種別
	廣岡 裕一	京都外国語大学グローバル観光学科教授	令和1年11月1日～ 令和3年11月1日(2年)	②
	田中 知一	大阪府立布施高等学校	令和1年4月1日～ 令和3年4月1日(2年)	②
	梅村 千尋	㈱日本旅行 企画チーフ	令和1年9月30日～ 令和3年9月30日(2年)	③
	稲垣 達也	阪急電鉄㈱ 運輸副部長	令和3年4月30日～ 令和5年4月30日(2年)	③
	宝田 英樹	日本航空㈱ 西日本地区副支配人	令和2年9月10日～ 令和4年9月10日(2年)	③
	佐野 恭子	KCJ GROUP株式会社キッズニア甲子園事業部	令和1年9月5日～ 令和3年9月5日(2年)	③
	古瀬 江梨奈	合同会社USJ人事部・ 卒業生	令和3年4月1日～ 令和5年4月1日(2年)	③
※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。				
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期				
(年間の開催数及び開催時期)				
年2回 (11月、2月)				
(開催日時(実績))				
第1回 令和2年11月11日 16:30～18:00				
第2回 令和3年2月24日 16:30～18:00				
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況				
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。				
①人の話が聞ける人材を求めているお客様と話す際に一番大切な能力であるグループディスカッションでの自身の立ち位置や、場の空気を読む力を持っている⇒就職関連授業以外でも、ディスカッション形式を取り入れた授業運営をしていく				
②英語と中国語はしっかり教育していくべき				
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係				
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針				
企業との連携により、実際の業界関連業務に携わることで、就業時に即戦力として働ける力を醸成する。				
(2)実習・演習等における企業等との連携内容				
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記				
受け入れ先企業と協定書を交わし、一定期間の企業実習を行う。当該企業の担当者は、指導報告を本学に行う。				
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。				
	科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等	
	企業実習/集中講座	各業界の企業インターンシップで職業体験を行う。又は、各企業に必要な実務能力を高めるための特別講座を受講する。	株式会社スタジオアリス他	
	スタイリングショー	学生の市場調査を基にした業界人へのプレゼンテーションや学生企画のドレスショーを実施して実施する。	ブライダル企業約100社	
	ブライダル業界対策	結婚式場とタイアップして施設見学を実施。最新のウェディング様式を修得。	(株)ベストブライダル	
3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係				
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針				
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記				
本学の教員・講師は講師向け配布マニュアル「教務基本指導要領」に基づき、全体研修・集合研修・個人研修の受講または専門分野の研究を行い、自己能力の開発に努めなければならない。				
(2)研修等の実績				
①専攻分野における実務に関する研修等				
研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等: 株式会社マックスマネジメント)				
期間:令和2年8月6日(木)～7(金) 対象:教職員24名				
内容:生徒や業界に対して更に魅力的な学科となるよう研鑽を積む。				
②指導力の修得・向上のための研修等				
研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等: 株式会社マックスマネジメント)				
期間:令和2年8月24日(月)～25(火) 対象:教職員24名				
内容:生徒や業界に対して更に魅力的な学科となるよう研鑽を積む。				
(3)研修等の計画				
①専攻分野における実務に関する研修等				
研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等: 株式会社マックスマネジメント)				
期間:令和3年7月26日(月)～27(火) 対象:教職員26名				
内容:ICT教育の充実を図るべくEdTechを研究する				
②指導力の修得・向上のための研修等				
研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等: 株式会社マックスマネジメント)				
期間:令和3年8月23日(月)～24(火) 対象:教職員21名				
内容:ICT教育の充実を図るべくEdTechを研究する				

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本学における自校点検が適切であるか、学校関係者の高所から意見・評価を取り入れ、より良い学校経営に活かす。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	運営方針に沿った事業計画の策定
(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等
(4)学修成果	就職率の向上、資格取得率の向上、退学率の低減等
(5)学生支援	進路・就職に関する支援体制、学生相談に関する体制
(6)教育環境	施設・設備、学内外の実習施設等
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動、奨学金等
(8)財務	中長期的な学校の財務基盤、予算・収支計画、財務
(9)法令等の遵守	専修学校教育基準の遵守、個人情報保護
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢
(11)国際交流	留学生の受入れ・派遣

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

公開する学校関係者評価は、本学の自己点検結果に対して評価委員が意見具申し、修正されたものが学校関係者評価委員会においての最終承認を得たものである。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
廣岡 裕一	京都外国語大学グローバル観光学科教授	令和1年11月1日～ 令和3年11月1日(2年)	②
田中 知一	大阪府立布施高等学校	令和1年4月1日～ 令和3年4月1日(2年)	②
梅村 千尋	㈱日本旅行 企画チーム	令和1年9月30日～ 令和3年9月30日(2年)	③
稲垣 達也	阪急電鉄㈱ 運輸副部長	令和3年4月30日～ 令和5年4月30日(2年)	③
宝田 英樹	日本航空㈱ 西日本地区副支配人	令和2年9月10日～ 令和4年9月10日(2年)	③
佐野 恭子	KCJ GROUP株式会社キッズニア甲子園事業部	令和1年9月5日～ 令和3年9月5日(2年)	③
古瀬 江梨奈	合同会社USJ人事部・卒業生	令和3年4月1日～ 令和5年4月1日(2年)	③

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()

URL:https://www.osaka-bridal.ac.jp/

公表時期:令和3年3月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本学の情報を企業等に広く提供することで、本学への理解を深めていただき、学園・企業間で相互に連携を緊密化し、学生就職時の最適なマッチングに活かしていく

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	教育理念、教育方針、所在地、校長名、施設名
(2)各学科等の教育	学生数、カリキュラム、進級要件、資格取得実績、就職
(3)教職員	教員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況
(5)様々な教育活動・教育環境	行事、課外活動
(6)学生の生活支援	健康診断、アルバイト、カウンセラー等
(7)学生納付金・修学支援	学費、学費減免制度、サポート制度
(8)学校の財務	財務状況
(9)学校評価	自己評価表
(10)国際連携の状況	外国人留学生の受入、留学制度
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()

https://www.osaka-bridal.ac.jp/

授業科目等の概要

(文化・教養課程課程ブライダル学科ドレスコーディネーターコース)

	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ホスピタリティヒューマンズスキル	「ホスピタリティマインド」、「自己理解・他者理解」、「キャリアデザイン」という3つのテーマより、自らが気づきを得るためのワークショップ形式の授業を展開	1前	30	2	○			○		○	○	
2	○			キャリアプランニングⅠ	1.自己分析、職業観、業界・企業研究 2.就職活動に必要な応募書類の理解と作成 3.面接試験対策	1後	30	2	○			○		○		
3	○			キャリアプランニングⅡ	1.求人情報、企業研究 2.面接トレーニング 3.アクションプラン作成	2前	30	2	○			○			○	
4	○			ビジネスマナーⅠ	働く上での基本といえるビジネスマナーとコミュニケーション、仕事の進め方やビジネス文書などを学びながら、同時にジョブパス検定合格を目指す	1前	30	2	○			○			○	
5	○			ビジネスマナーⅡ	第一印象を良くする(挨拶、態度、話し方など)基本マナーを身につけ、社会人としての人との接し方、電話対応、来客対応や文書の常識を学ぶ	1後	30	2	○			○			○	○
6	○			ビジネスマナーⅢ	ビジネスマナーⅠ、Ⅱで学んだことを基本に、実際の社会で役立つこと、社会人として知っておくべき知識を応用できるようにワーク形式で学習する。	2後	30	2	○			○			○	○
7	○			業界就職試験対策Ⅰ	業界就職試験に必要な数学、国語及び社会の知識及び能力を問題を解きながら得る。	1前	30	2	○			○			○	○
8	○			業界就職試験対策Ⅱ	業界就職試験に必要な数学、国語及び社会の知識及び能力を問題を解きながら得る。	1後	30	2	○			○			○	
9	○			企業実習/集中講座	各業界の企業インターンシップで職業体験を行う。又は、各業界の必要な実務能力を高めるための特別講座を受講する。	12通	180	6				○	○	○		○
10	○			ホームルーム	クラス内での役割分担、コミュニケーションを実践的に学ぶ。担任との学生生活、進路等の相談を通じて、自分のキャリアプランの形成につなげる。	12通	120	8	○			○			○	
11	○			ブライダル基礎知識	結婚の歴史や概論、専門用語について学び、結婚式運営における実務知識を身につける	1前	30	2	○			○			○	
12	○			色彩検定対策	色彩検定対策	1通	60	4	○			○				○
13	○			ブライダル業界対策Ⅰ	業界の様々な企業、職種を知り、業務内容を理解した上で就職活動へ役立てるために職種研修を行う。	1前	30	2	○			○			○	○
14	○			ブライダル業界対策Ⅱ	職種に合わせた志望動機の基本を学ぶ。卒業生から体験談を聞き、効果的に業界の知見を広げる。	1後	30	2	○			○			○	○
15	○			フラワー基礎知識	花の知識と基本的な技術を習得していく。ブーケを製作する難しさと、花にふれる楽しさを体感する。	1前	30	2	○			○				○

33	○		ジュエリー基礎知識	ジュエリーの基礎知識・特性・コーディネートを習得し、お客様に提案できるようになる。	2前	30	2	○			○			○
34	○		ビジネススキル	手話や英語、ユニバーサルマナー等様々なお客様へのサービス対応を学ぶ。	2後	30	2	○			○		○	○
35	○		卒業制作	結婚式に関するPRを映像などに取りまとめ、作成し発表する。	2後	30	2	○			○		○	○
36	○		スタイリングショー	小物、ドレスの製作や演出、内容を考え、企画担当者やデザイナーの気持ちを理解しながら、ショーを作り上げる。	2後	90	2	○			○		○	○
37	○		パンフレット制作	ドレスカタログの制作を行い、ドレスの見せ方、コーディネート力を身につける。	2後	30	2	○			○		○	
38	○		ブライダル実務Ⅰ	結婚式に関わる商品知識・価値を学び、見積もりの構成の仕組みを学ぶ。	2前	30	2	○			○		○	
39	○		ブライダル実務Ⅱ	商品知識を理解し、各アイテムの販売トークを学び、提案力をつける。	2後	30	2	○			○		○	
40	○		和装婚礼衣装知識	和装花嫁・花婿の和婚に関する知識や参列者の装いやマナー、衣装メンテナンスを習得する。	1後	30	2	○			○		○	○
合計					40 科目			1860単位時間		(118 単位)				

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
全科目の75%が履修科目として認定取得されていること。 一部の科目について、選択履修を行う。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																
大阪ブライダル専門学校	平成23年4月1日	高田 直樹	〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀2-1-25 (電話) 06-6447-0051																
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																
学校法人トラベルジャーナル学園	昭和55年4月1日	森谷 博	〒164-8550 東京都中野区東中野三丁目18番11号 (電話) 03-6734-2939																
分野	認定課程名	認定学科名	専門士 高度専門士																
文化・教養	文化・教養専門課程	ブライダル学科 ウエディングプランナー科(コース)	平成23年文部科学省 認定 -																
学科の目的	ブライダルサービス関連企業との連携をより強固なものにして、本学卒業後に即戦力として就業できる人材を教育・育成する。																		
認定年月日	平成26年3月31日																		
修業年限	昼夜 1700時間	講義 1520時間	演習 - 実習 180 実験 - 実技 -																
2年	0																		
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数 兼任教員数 総教員数																
160人	109人	0人	5人 12人 17人																
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日	成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期毎に1回の試験を実施																
長期休み	■夏季:7月下旬～9月30日までの5週間 ■冬季:12月下旬～1月上旬の3週間 ■春季休業:3月上旬～4月上旬までの3週間	卒業・進級 条件	全科目の75%以上の科目認定 出席率75%以上																
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任、副担任制による定期的な面談実施 カウンセラー担当者設置	課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 ・体育祭・学園祭における実行委員会 ・研修旅行・フィールドワーク ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)																
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) ブライダルサービス関連業界 ■就職指導内容 面接指導、筆記試験対策、業界事情の講義 ■卒業生数 : 人 ■就職希望者数 : 36 人 ■就職者数 : 36 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 94.7 % ■その他 ・病欠療養 : 1名 (令和 2 年度卒業生に関する 令和3年3月31日 時点の情報)	主な学修成果 (資格・検定等) ※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定ウエディングプランナー</td> <td>③</td> <td></td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>ブライダルコーディネート技能検定3級</td> <td>③</td> <td></td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>認定ドレスコーディネーター</td> <td>③</td> <td></td> <td>13名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 なし</p>	資格・検定名	種	受験者数	合格者数	認定ウエディングプランナー	③		31人	ブライダルコーディネート技能検定3級	③		16人	認定ドレスコーディネーター	③		13名
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																
認定ウエディングプランナー	③		31人																
ブライダルコーディネート技能検定3級	③		16人																
認定ドレスコーディネーター	③		13名																
中途退学の 現状	■中途退学者 令和2年4月1日時点において、在学者 91名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者 83名(令和3年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由・進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 出席率管理・出席率悪化学生の早期面談システム	8名	■中退率 8.7%																
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 長期留學制度奨学金 英語資格取得奨学金 家族推薦奨学金 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																		
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																		
当該学科の ホームページ URL	https://www.osaka-bridal.ac.jp/																		

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係				
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針				
企業実習や本学卒業生の勤務状況、企業の施設を利用した実践的な講義を通じ、人事担当者や現場責任者の意見具申をカリキュラム等に柔軟に反映させていく。				
(2)教育課程編成委員会等の位置付け				
業界からの要望、知見をもって、本学のカリキュラムの編成に対して意見・具申を行う。				
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿				
令和2年3月31日現在				
	名 前	所 属	任期	種別
	廣岡 裕一	京都外国語大学グローバル観光学科教授	令和1年11月1日～令和3年11月1日(2年)	②
	田中 知一	大阪府立布施高等学校	令和1年4月1日～令和3年4月1日(2年)	②
	梅村 千尋	㈱日本旅行 企画チーフ	令和1年9月30日～令和3年9月30日(2年)	③
	稲垣 達也	阪急電鉄㈱ 運輸副部長	令和3年4月30日～令和5年4月30日(2年)	③
	宝田 英樹	日本航空㈱ 西日本地区副支配人	令和2年9月10日～令和4年9月10日(2年)	③
	佐野 恭子	KCJ GROUP株式会社キッズニア甲子園事業部	令和1年9月5日～令和3年9月5日(2年)	③
	古瀬 江梨奈	合同会社USJ人事部・ 卒業生	令和3年4月1日～令和5年4月1日(2年)	③
※委員の種類の欄には、委員の種類のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。				
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期				
(年間の開催数及び開催時期)				
年2回(11月、2月)				
(開催日時(実績))				
第1回 令和2年11月11日 16:30～18:00				
第2回 令和3年2月24日 16:30～18:00				
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況				
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。				
①人の話が聞ける人材を求めているお客様と話す際に一番大切な能力であるグループディスカッションでの自身の立ち位置や、場の空気を読む力を持っている⇒就職関連授業以外でも、ディスカッション形式を取り入れた授業運営をしていく				
②英語と中国語はしっかり教育していくべき				
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係				
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針				
企業との連携により、実際の業界関連業務に携わることで、就業時に即戦力として働ける力を醸成する。				
(2)実習・演習等における企業等との連携内容				
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記				
受け入れ先企業と協定書を交わし、一定期間の企業実習を行う。当該企業の担当者は、指導報告を本学に行う。				
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。				
	科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等	
	企業実習/集中講座	各業界の企業インターンシップで職業体験を行う。又は、各企業に必要な実務能力を高めるための特別講座を受講する。	株式会社スタジオアリス他	
	ブライダル発表会	学生の市場調査を基にした業界人へのプレゼンテーションや学生企画のドレスショーを実施する。	ブライダル企業約100社	
	ブライダル業界対策	結婚式場とタイアップして施設見学を実施。最新のウェディング様式を修得。	(株)ベストブライダル	
3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係				
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針				
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記				
本学の教員・講師は講師向け配布マニュアル「教務基本指導要領」に基づき、全体研修・集合研修・個人研修の受講または専門分野の研究を行い、自己能力の開発に努めなければならない。				
(2)研修等の実績				
①専攻分野における実務に関する研修等				
研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等: 株式会社マックスマネジメント)				
期間: 令和2年8月6日(木)～7(金) 対象: 教職員24名				
内容: 生徒や業界に対して更に魅力的な学科となるよう研鑽を積む。				
②指導力の修得・向上のための研修等				
研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等: 株式会社マックスマネジメント)				
期間: 令和2年8月24日(月)～25(火) 対象: 教職員24名				
内容: 生徒や業界に対して更に魅力的な学科となるよう研鑽を積む。				
(3)研修等の計画				
①専攻分野における実務に関する研修等				
研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等: 株式会社マックスマネジメント)				
期間: 令和3年7月26日(月)～27(火) 対象: 教職員26名				
内容: ICT教育の充実を図るべくEdTechを研究する				
②指導力の修得・向上のための研修等				
研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等: 株式会社マックスマネジメント)				
期間: 令和3年8月23日(月)～24(火) 対象: 教職員21名				
内容: ICT教育の充実を図るべくEdTechを研究する				

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本学における自校点検が適切であるか、学校関係者の高所から意見・評価を取り入れ、より良い学校経営に活かす。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	運営方針に沿った事業計画の策定
(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等
(4)学修成果	就職率の向上、資格取得率の向上、退学率の低減等
(5)学生支援	進路・就職に関する支援体制、学生相談に関する体制
(6)教育環境	施設・設備、学内外の実習施設等
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動、奨学金等
(8)財務	中長期的な学校の財務基盤、予算・収支計画、財務
(9)法令等の遵守	専修学校教育基準の遵守、個人情報保護
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢
(11)国際交流	留学生の受入れ・派遣

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

公開する学校関係者評価は、本学の自己点検結果に対して評価委員が意見具申し、修正されたものが学校関係者評価委員会においての最終承認を得たものである。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
廣岡 裕一	京都外国語大学グローバル観光学科教授	令和1年11月1日～ 令和3年11月1日(2年)	②
田中 知一	大阪府立布施高等学校	令和1年4月1日～ 令和3年4月1日(2年)	②
梅村 千尋	㈱日本旅行 企画チーフ	令和1年9月30日～ 令和3年9月30日(2年)	③
稲垣 達也	阪急電鉄㈱ 運輸副部長	令和3年4月30日～ 令和5年4月30日(2年)	③
宝田 英樹	日本航空㈱ 西日本地区副支配人	令和2年9月10日～ 令和4年9月10日(2年)	③
佐野 恭子	KCJ GROUP株式会社キッズニア甲子園事業部	令和1年9月5日～ 令和3年9月5日(2年)	③
古瀬 江梨奈	合同会社USJ人事部・卒業生	令和3年4月1日～ 令和5年4月1日(2年)	③

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報紙等の刊行物・その他()

URL:https://www.osaka-bridal.ac.jp/

公表時期:令和3年3月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本学の情報を企業等に広く提供することで、本学への理解を深めていただき、学園・企業間で相互に連携を緊密化し、学生就職時の最適なマッチングに活かしていく

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	教育理念、教育方針、所在地、校長名、施設名
(2)各学科等の教育	学生数、カリキュラム、進級要件、資格取得実績、就職
(3)教職員	教員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況
(5)様々な教育活動・教育環境	行事、課外活動
(6)学生の生活支援	健康診断、アルバイト、カウンセラー等
(7)学生納付金・修学支援	学費、学費減免制度、サポート制度
(8)学校の財務	財務状況
(9)学校評価	自己評価表
(10)国際連携の状況	外国人留学生の受入、留学制度
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ・広報紙等の刊行物・その他()

https://www.osaka-bridal.ac.jp/

授業科目等の概要

(文化・教養課程課程ブライダル学科ウエディングプランナーコース)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択					講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	○			ホスピタリ ティヒューマ ンスキル	「ホスピタリティマインド」、「自己理解・他者理解」、 「キャリアデザイン」という3つのテーマより、自らが気づきを 得るためのワークショップ形式の授業を展開	1前	30	2	○			○		○	
	○			キャリアプラ ンニングⅠ	1.自己分析、職業観、業界・企業研究 2.就職活動に必要な応募書類の理解と作成 3.面接試験対策	1後	30	2	○			○			
	○			キャリアプラ ンニングⅡ	1.求人情報、企業研究 2.面接トレーニング 3.アクションプラン作成	2前	30	2	○			○			○
	○			ビジネスマ ナーⅠ	働く上での基本といえるビジネスマナーとコミュニケーション、 仕事の進め方やビジネス文書などを学びながら、同時に ジョブパス検定合格を目指す	1前	30	2	○			○			○
	○			ビジネスマ ナーⅡ	第一印象を良くする（挨拶、態度、話し方など）基本マナーを 身につけ、社会人としての人の接し方、電話対応、来客対応や 文書の常識を学ぶ	1後	30	2	○			○			○
	○			ビジネスマ ナーⅢ	ビジネスマナーⅠ、Ⅱで学んだことを基本に、実際の社会で役 立つこと、社会人として知っておくべき知識を応用できるよう にワーク形式で学習する。	2後	30	2	○			○			○
	○			業界就職試験 対策Ⅰ	業界就職試験に必要な数学、国語及び社会の知識及び能力を問 題を解きながら得る。	1前	30	2	○			○			○
	○			業界就職試験 対策Ⅱ	業界就職試験に必要な数学、国語及び社会の知識及び能力を問 題を解きながら得る。	1後	30	2	○			○			○
	○			企業実習/集 中講座	各業界の企業インターンシップで職業体験を行う。又は、各業 界の必要な実務能力を高めるための特別講座を受講する。	通	180	6				○	○	○	
	○			ホームルーム	クラス内での役割分担、コミュニケーションを実践的に学ぶ。 担任との学生生活、進路等の相談を通じて、自分のキャリアプ ランの形成につなげる。	通	120	8	○			○			○
	○			ブライダル基 礎知識	結婚の歴史や概論、専門用語について学び、結婚式運営におけ る実務知識を身につける	1前	30	2	○			○			○
	○			色彩検定対策	色彩検定対策	1通	60	4	○			○			○
	○			ブライダル業 界対策Ⅰ	業界の様々な企業、職種を知り、業務内容を理解した上で就職 活動へ役立てるために職種研修を行う。	1前	30	2	○			○			○
	○			ブライダル業 界対策Ⅱ	職種に合わせた志望動機の基本を学ぶ。卒業生から体験談を聞 き、効果的に業界の知見を広げる。	1後	30	2	○			○			○
	○			フラワー基礎 知識	花の知識と基本的な技術を習得していく。ブーケを製作する難 しさと、花にふれる楽しさを体感する。	1前	30	2	○			○			○

16	○		パソコン検定対策	パソコン関連検定対策授業	2後	30	2	○				○			○
17	○		コンセプトウエディング	結婚式の顧客満足度を高めるため、コンセプトづくりの基礎を学ぶ。	2前	60	4	○				○			○
18	○		ウエディングプランナー検定対策	WBJ認定ウエディング検定対策授業	1後	30	2	○				○			○
19	○		セルフプロデュース（インターン・ヘアメイク）	自己分析の重要性を理解し、自己PR（強み）を見つける。リクルートスーツを着こなして企業側に好印象を与えることができるよう自分自身のメイクとヘアセット技術を習得する。	1前	30	2	○				○			○
20	○		セルフプロデュース（ウォーキング・ボイス）	美しい姿勢と歩き方、好印象の立ち居振る舞いや人前での話し方を身に付ける。	2後	30	2	○				○			○
21	○		洋装婚礼衣装知識	ブライダル業界で仕事をするうえで重要な婚礼衣装についての知識を習得する	1前	30	2	○				○			○
22	○		模擬披露宴	披露宴の流れを理解し、実際に創り上げることで、状況判断力、サービススキルアップを図る。	2前	60	4	○				○			○
23	○		ブライダル演出	挙式披露宴にて使用される演出アイテムの知識を習得し、提案力を身につける。	1後	30	2	○				○			○
24	○		模擬挙式	人前式の流れを理解し、知識を習得する。進行を企画し、実際に挙式を執り行う	1前	30	2	○				○	○		○
25	○		ブライダルコーディネーター検定対策	ブライダルコーディネーター検定対策授業	1後	30	2	○				○			○
26	○		ウエディングプランナー接客	ウエディングプランナー業務内容を学び、婚礼当日までの打ち合わせに必要な知識を理解する。	2前	30	2	○				○			○
27	○		ブライダルフラワー	ドレスやテーブルクロス、季節に合わせたブーケやテーブルフラワーを実際に作成し、必要な基礎技術とセンスを身につける。	2前	30	2	○				○			○
28	○		ケーススタディ	ブライダルの現場で起こりうる様々な場面を想定し、判断力や対応力を養う。	2前	30	2	○				○			○
29	○		ブライダルマーケティング	業界市場を理解し、集客方法やブライダルフェア企画の企画提案力を身につける。	2前	30	2	○				○			○
30	○		フォトコンテスト	新郎新婦様のご希望を取り入れたコンセプトを考え、企画、アイデアをカタチにし空間（写真）を創り上げ、学内コンテストを開催する。	2前	30	2	○				○			○
31	○		婚礼衣装知識	洋装・和装婚礼衣装の知識を学び、衣装の検定取得を目指す。	2前	30	2	○				○			○
32	○		ビジネススキル	手話や英語、ユニバーサルマナー等様々なお客様へのサービス対応を学ぶ。	2後	30	2	○				○			○

33	○		卒業制作	結婚式に関するPRを映像などに取りまとめ、作成し発表する。	2後	30	2	○			○	○	○
34	○		ブライダル発表会	業界の抱える問題に対し、課題解決のための企画を立案し、ブライダル企業様の前でプレゼンテーションを行う。	2後	60	4	○			○	○	○
35	○		ブライダルムービー	映像撮影、編集の基礎を学び、人の心を動かす映像作成の技術を身に着ける。	2後	30	2	○			○		○
36	○		ウェディングプランナーロールプレイングコンテスト	おふたりの想いを引き出すコミュニケーション能力、ご要望を取り入れたコンセプトブックを作成し、提案する力を身につける。	2後	60	4	○			○	○	
37	○		ブライダル実務Ⅰ	結婚式に関わる商品知識・価値を学び、見積もりの構成の仕組みを学ぶ。	1前	30	2	○			○	○	
38	○		ブライダル実務Ⅱ	商品知識を理解し、各アイテムの販売トークを学び、提案力をつける。	2後	30	2	○			○	○	
合計					38	科目		1860単位時間(118 単位)					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
全科目の75%が履修科目として認定取得されていること。 一部の科目について、選択履修を行う。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																
大阪ブライダル専門学校	平成23年4月1日	高田 直樹	〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀2-1-25 (電話) 06-6447-0051																
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																
学校法人トラベルジャーナル学園	昭和55年4月1日	森谷 博	〒164-8550 東京都中野区東中野三丁目18番11号 (電話) 03-6734-2939																
分野	認定課程名	認定学科名	専門士 高度専門士																
文化・教養	文化・教養専門課程	ブライダル学科 海外ウエディング科	平成23年文部科学省 認定 -																
学科の目的	ブライダルサービス関連企業との連携をより強固なものにして、本学卒業後に即戦力として就業できる人材を教育・育成する。																		
認定年月日	平成26年3月31日																		
修業年限	昼夜 1700時間	講義 1520時間	演習 - 実習 180 実験 - 実技 -																
2年	0																		
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数 兼任教員数 総教員数																
160人	3人	0人	5人 12人 17人																
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日	成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期毎に1回の試験を実施																
長期休み	■夏季:7月下旬～9月30日までの5週間 ■冬季:12月下旬～1月上旬の3週間 ■春季休業:3月上旬～4月上旬までの3週間	卒業・進級 条件	全科目の75%以上の科目認定 出席率75%以上																
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任、副担任による定期的な面談実施 カウンセラー担当者設置	課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 ・体育祭・学園祭における実行委員会 ・研修旅行・フィールドワーク ■サークル活動: 有																
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) ブライダルサービス関連業界 ■就職指導内容 面接指導、筆記試験対策、業界事情の講義 ■卒業生数 : 3 人 ■就職希望者数 : 3 人 ■就職者数 : 3 人 ■就職率 : 3 人 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 : (令和2年度卒業生に関する 令和3年3月31日時点の情報)	主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他(民間検定等) (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定ウエディングプランナー</td> <td>③</td> <td></td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>ブライダルコーディネート技能検定3級</td> <td>③</td> <td></td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>認定ドレスコーディネーター</td> <td>③</td> <td></td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 なし	資格・検定名	種	受験者数	合格者数	認定ウエディングプランナー	③		2人	ブライダルコーディネート技能検定3級	③		1人	認定ドレスコーディネーター	③		2名
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																
認定ウエディングプランナー	③		2人																
ブライダルコーディネート技能検定3級	③		1人																
認定ドレスコーディネーター	③		2名																
中途退学の 現状	■中途退学者 令和2年4月1日時点において、在学者4名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者4名(令和3年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由・進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 出席率管理・出席率悪化学生の早期面談システム	0名	■中退率 %																
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 長期留學制度奨学金 英語資格取得奨学金 家族推薦奨学金 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																		
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																		
当該学科の ホームページ URL	https://www.osaka-bridal.ac.jp/																		

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者から除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経済的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係				
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針				
企業実習や本学卒業生の勤務状況、企業の施設を利用した実践的な講義を通じ、人事担当者や現場責任者の意見具申をカリキュラム等に柔軟に反映させていく。				
(2)教育課程編成委員会等の位置付け 業界からの要望、知見をもって、本学のカリキュラムの編成に対して意見・具申を行う。				
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿				
令和2年3月31日現在				
	名 前	所 属	任期	種別
	廣岡 裕一	京都外国語大学グローバル観光学科 教授	令和1年11月1日～ 令和3年11月1日(2年)	②
	田中 知一	大阪府立布施高等学校	令和1年4月1日～ 令和3年4月1日(2年)	②
	梅村 千尋	㈱日本旅行 企画チーフ	令和1年9月30日～ 令和3年9月30日(2年)	③
	稲垣 達也	阪急電鉄㈱ 運輸副部長	令和3年4月30日～ 令和5年4月30日(2年)	③
	宝田 英樹	日本航空㈱ 西日本地区副支配人	令和2年9月10日～ 令和4年9月10日(2年)	③
	佐野 恭子	KCJ GROUP株式会社キッズニア甲子 園事業部	令和1年9月5日～ 令和3年9月5日(2年)	③
	古瀬 江梨奈	合同会社USJ人事部・ 卒業生	令和3年4月1日～ 令和5年4月1日(2年)	③
※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。				
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期 (年間の開催数及び開催時期) 年2回 (11月、2月) (開催日時(実績)) 第1回 令和2年11月11日 16:30～18:00 第2回 令和3年2月24日 16:30～18:00				
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。 ・文章力の向上(筆記時間および内容) ・ビジネスメールの訓練				
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係				
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針				
企業との連携により、実際の業界関連業務に携わることで、就業時に即戦力として働ける力を醸成する。				
(2)実習・演習等における企業等との連携内容 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記				
受け入れ先企業と協定書を交わし、一定期間の企業実習を行う。当該企業の担当者は、指導報告を本学に行う。				
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。				
	科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等	
	企業実習/集中講座	各業界の企業インターンシップで職業体験を行う。又は、各企業に必要な実務能力を高めるための特別講座を受講する。	株式会社スタジオアリス他	
	卒業制作	学生の市場調査を基にした業界人へのプレゼンテーションや学生企画のドレスショーを使用し実施する。	プライダル企業約100社	
	キャリアプランニングⅡ	結婚式場とタイアップして施設見学を実施。最新のウェディング様式を修得。	(株)ベストプライダル	
3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係				
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 本学の教員・講師は講師向け配布マニュアル「教務基本指導要領」に基づき、全体研修・集合研修・個人研修の受講または専門分野の研究を行い、自己能力の開発に努めなければならない。				
(2)研修等の実績				
①専攻分野における実務に関する研修等				
研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等: 株式会社マックスマネジメント) 期間:令和2年8月6日(木)～7(金) 対象:教職員24名 内容:生徒や業界に対して更に魅力的な学科となるよう研鑽を積む。				
②指導力の修得・向上のための研修等				
研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等: 株式会社マックスマネジメント) 期間:令和2年8月24日(月)～25(火) 対象:教職員24名 内容:生徒や業界に対して更に魅力的な学科となるよう研鑽を積む。				
(3)研修等の計画				
①専攻分野における実務に関する研修等				
研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等: 株式会社マックスマネジメント) 期間:令和3年7月26日(月)～27(火) 対象:教職員26名 内容:ICT教育の充実を図るべくEdTechを研究する				
②指導力の修得・向上のための研修等				
研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等: 株式会社マックスマネジメント) 期間:令和3年8月23日(月)～24(火) 対象:教職員21名 内容:ICT教育の充実を図るべくEdTechを研究する				

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本学における自校点検が適切であるか、学校関係者の高所から意見・評価を取り入れ、より良い学校経営に活かす。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	運営方針に沿った事業計画の策定
(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等
(4)学修成果	就職率の向上、資格取得率の向上、退学率の低減等
(5)学生支援	進路・就職に関する支援体制、学生相談に関する体制
(6)教育環境	施設・設備、学内外の実習施設等
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動、奨学金等
(8)財務	中長期的な学校の財務基盤、予算・収支計画、財務
(9)法令等の遵守	専修学校教育基準の遵守、個人情報保護
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	留学生の受入れ・派遣

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

公開する学校関係者評価は、本学の自己点検結果に対して評価委員が意見具申し、修正されたものが学校関係者評価委員会においての最終承認を得たものである。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
廣岡 裕一	京都外国語大学グローバル観光学科教授	令和1年11月1日～ 令和3年11月1日(2年)	②
田中 知一	大阪府立布施高等学校	令和1年4月1日～ 令和3年4月1日(2年)	②
梅村 千尋	㈱日本旅行 企画チーフ	令和1年9月30日～ 令和3年9月30日(2年)	③
稲垣 達也	阪急電鉄㈱ 運輸副部長	令和3年4月30日～ 令和5年4月30日(2年)	③
宝田 英樹	日本航空㈱ 西日本地区副支配人	令和2年9月10日～ 令和4年9月10日(2年)	③
佐野 恭子	KCJ GROUP株式会社キッズニア甲子園事業部	令和1年9月5日～ 令和3年9月5日(2年)	③
古瀬 江梨奈	合同会社USJ人事部・卒業生	令和3年4月1日～ 令和5年4月1日(2年)	③

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報紙等の刊行物・その他()

URL:https://www.osaka-bridal.ac.jp/

公表時期:令和3年3月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本学の情報を企業等に広く提供することで、本学への理解を深めていただき、学園・企業間で相互に連携を緊密化し、学生就職時の最適なマッチングに活かしていく

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	教育理念、教育方針、所在地、校長名、施設名
(2)各学科等の教育	学生数、カリキュラム、進級要件、資格取得実績、就職
(3)教職員	教員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況
(5)様々な教育活動・教育環境	行事、課外活動
(6)学生の生活支援	健康診断、アルバイト、カウンセラー等
(7)学生納付金・修学支援	学費、学費減免制度、サポート制度
(8)学校の財務	財務状況
(9)学校評価	自己評価表
(10)国際連携の状況	外国人留学生の受入、留学制度
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ・広報紙等の刊行物・その他()

https://www.osaka-bridal.ac.jp/

授業科目等の概要

(文化・教養課程課程ブライダル学科海外ウェディング科)																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○			キャリアプランニングⅡ	1. 求人情報、企業研究 2. 面接トレーニング 3. アクションプラン作成	2前	30	2	○			○			○	○
	○			ビジネスマナーⅢ	ビジネスマナーⅠ、Ⅱで学んだことを基本に、実際の社会で役立つこと、社会人として知っておくべき知識を応用できるようにワーク形式で学習する。	2後	30	2	○			○			○	○
	○			遊学ゼミ	社会に出て活かせる特技、教養を身に着けるため、カメラ・料理・ダンス・ボランティアなど幅広いジャンルから、自分の特性に合ったものを選ぶ。	2後	30	2	○			○			○	
	○			企業実習/集中講座	各業界の企業インターンシップで職業体験を行う。又は、各業界の必要な実務能力を高めるための特別講座を受講する。	通	180	6				○	○			○
	○			ホームルーム	クラス内での役割分担、コミュニケーションを実践的に学ぶ。担任との学生生活、進路等の相談を通じて、自分のキャリアプランの形成につなげる。	通	120	8	○			○			○	
		○		総合管理者対策	総合旅行業務取扱管理者検定対策授業	2前	30	2	○			○				○
		○		色彩検定対策	色彩検定対策	2前	30	2	○			○				○
		○		交流分析	交流分析資格取得対策授業	通	30	2	○			○				○
		○		パソコン検定対策	パソコン関連検定対策授業	2前	30	2	○			○				○
		○		手話検定対策	手話検定対策授業	通	30	2	○			○				○
		○		日本語能力検定(N1)	日本語能力検定(N1)対策授業	2前	30	2	○			○				○
		○		日本語検定対策	日本語検定対策授業	2前	30	2	○			○				○
		○		ペン字検定対策	ペン字検定対策授業	通	30	2	○			○				○
		○		和食検定対策	和食検定対策	2前	30	2	○			○				○
		○		冠婚葬祭マナー	社会に出て、また家庭を持っても必要な作法や日本のしきたりとおもてなしの心を後世に伝えられるように学ぶ。知識と立ち居振る舞いと心得が同時に身につくように体験学習する。エレガントで常識をわきまえた大人になるための学習である。	2後	30	2	○			○				○
		○		観光地理	世界の主要都市、観光名所、祭事、イベント等を学ぶ。	2後	30	2	○			○				○

17	○	はじめての手話	手話技能習得の入門編	2後	30	2	○			○				○
18	○	はじめての中国語	中国語（初学者対象授業）	2後	30	2	○			○				○
19	○	はじめての韓国語	韓国語（初学者対象授業）	2後	30	2	○			○				○
20	○	社会で役立つWord & Excel	【Word】 日本語ワープロ検定（3級～2級）、文書デザイン検定（3級～2級）が取得できる操作を学習する。 【Excel】 表計算の基本操作・機能を身につけながら、情報処理検定（3級）が取得できる操作を学習する。	2後	30	2	○			○				○
21	○	やさしいパソコン	スムーズな日本語をローマ字入力できることを目指す。社会に出て使える、Word・Excel・PowerPointの基本操作を学習する。さらにPowerPointで課題を作成する。	2後	30	2	○			○				○
22	○	日本語総まとめ	社気になる前の最後の日本語授業で、ビジネスの現場で使える日本語、少し難しい言い回しなどを学習します。	2後	30	2	○			○				○
23	○	電話応対技能検定対策	電話応対技能検定対策授業	通	30	2	○			○				○
24	○	大阪検定対策	大阪検定対策	2後	30	2	○			○				○
25		ユニバーサルマナー												
26	○	Communication English	コミュニケーションに役立つ英語を学ぶ	2後	30	2	○			○				○
27	○	ハングル能力検定対策	ハングル能力検定対策授業	2前	30	2	○			○				○
28	○	TOEIC対策	TOEIC検定対策授業	2前	30	2	○			○				○
29	○	接客英会話	接客に必要な英会話を身につける授業	2後	30	2	○			○				○
30	○	マナープロトコール	マナープロトコール検定対策	2前	30	2	○			○				○
31	○	模擬披露宴	披露宴の流れを理解し、実際に創り上げることで、状況判断力、サービススキルアップを図る。	2前	30	2	○			○				○
32	○	海外挙式プランニング	海外挙式の流れを理解し、プランニングする。	2前	30	2	○			○				○
33	○	ブライダル実務	結婚式に関わる商品知識・価値を学び、見積もりの構成の仕組みを理解し、各アイテムの販売トークを学び、提案力をつける。	2前	30	2	○			○				○
34	○	卒業制作	結婚式に関するPRを映像などに取りまとめ、作成し発表する。	2後	30	2	○			○				○
35	○	ブライダルコーディネーター検定対策	過去問題を中心に解き、解説を行い、出題傾向を理解し、ブライダル知識を理解する。	2後	30	2	○			○				○

36	○		Advanced English I	ネイティブ講師による上級者向け授業 議題について意見交換や討論をし、英語のポキャブラリーを増やす	2前	30	2	○			○			○
37	○		Advanced English II	ネイティブ講師による上級者向け授業 議題について意見交換や討論をし、英語のポキャブラリーを増やす	2後	30	2	○			○			○
38		○	ウェディングプランナーコース	オリジナルウェディングに必要な企画・提案力を習得。挙式の進行を学び、ブライダルに関する企画やプロデュースのしくみを理解し、模擬挙式を企画・発表ができる力を身につける。	2通	180	12	○			○		○	○
39		○	ドレスコーディネーターコース	結婚式場で必要なドレスコーディネート知識を習得する。	2通	180	12	○			○		○	○
40		○	ブライダルビューティアドバイザーコース	ネイルの基礎知識・技術を学びネイル検定3級・2級を目指す。ヘアメイクの基礎知識・技術とアドバイス手法を学び、メイクリハーサルのスキルを身につける。	2通	180	12	○			○			○
41		○	ショップアドバイザーコース	接客心理の観点からお客様のニーズを学び、セールスの現場において即戦力となれる商品知識の習得を目指す。	2通	180	12	○			○			○
42		○	ブライダルフラワーコーディネーターコース	①植物としての花の特性や扱い方、アレンジに欠かせない色彩学等、花に関する知識と技術を学ぶ。 ②ドレスやテーブルクロス、季節に合わせたブーケやテーブルフラワーを実際に作成し、必要な基礎技術とセンスを身につける。 ③結婚式のコンセプトに基づいて、挙式・披露宴会場全体の装花を企画、作成。空間演出まで総合的にプロデュースする力を養う	2通	180	12	○			○			○
合計					42 科目					1860単位時間(118 単位)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
全科目の75%が履修科目として認定取得されていること。 一部の科目について、選択履修を行う。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合